

物故会員

福 居 和 廣 先生 (35期 4月5日ご逝去)

針 谷 紘 一 先生 (25期 5月2日ご逝去)

令和3年度（2021年度）法友倶楽部活動報告

令和4年5月24日

令和3年度幹事長 林 裕之

1 弁護士会内外の課題に関する情報交換・研究を活発に行い、必要な施策を提言する。

幹事会、総会、メーリングリスト等を通じ、弁護士会の取組についての情報提供や、今後の課題についての議論を行った。

会誌147号においては、当面する重要課題として、「弁護士自治」「人権擁護」「男女共同参画への取組」「刑事弁護」「次世代を担う子どもや若年者の人権課題」「業務拡大」を取り上げ、提言を行った。

また、90周年記念事業の記念誌においては、「座談会 コロナ禍を振り返りつつ、将来を展望する」と題して座談会を実施し、「会員の日常業務」、「弁護士会の活動」、「会派の活動」、「裁判手続のIT化」「今後の予測・展望」などを取り上げ、提言を行った。

2 会員間の公平に配慮しつつ、多様かつ適切な人材を弁護士会内外の幅広い分野に送り出す。

井崎康孝会員を大阪弁護士会の副会長に、池内清一郎会員を総会議長に推薦し、いずれもご当選いただいた。

3 親睦・研修・法曹交流などの行事をコロナ禍の下様々な工夫をしてできるだけ企画し、会員間の交流を深めるなどして、参加しやすい、魅力ある会派を目指す。

親睦委員会において、コロナ禍で企画の中止が相次いだが、HGCは3回開催し、他会派合同スキー旅行も開催した。

研修・法曹交流委員会において、「知的財産法・倒産分野の実務 初級編」と「弁護士登録後の他業種経験の魅力について」の研修を行った。また、7会派合同で「清武英利氏に学ぶ！事実を聞き出す力」の研修を行った。OJT及びサポート制度を継続実施しており、サポート制度については相応の相談件数があったが、OJTについては1件にとどまった。その他各種交流会はコロナ禍のため中止となった。

同期間の交流を促すべく補助金を出すことを企画し、幹事会においてご承認いただいたが、コロナ禍のため実施に至らなかった。次年度に実施を期待する。

昨今の収支状況に鑑み、会費減額を目指し、企画委員会への諮問・答申、幹事会承認を頂いた。次年度、総会で決議されることを期待する。

4 ITを利用した新たなコミュニケーション手段を積極的に活用し、それに関する必要な情報提供・研修を行う。

春季定時総会、冬季定時総会、当選祝賀会兼新年会など、WEBを併用で行うことにより、多くの会員にご参加いただいた。

春季定時総会においては、推せん委員の投票をWEBで行い、大幅な時間・労力の短縮となった。

冬季定時総会の終了後、恒例のオークションをWEB併用で開催した。商品紹介につきWEB中継を行うなど、ITを利用した新たな試みを行った。おおむね好評であった。

5 広報誌、メーリングリストなどを通じて、効率的かつ充実した広報を行う。また、ホームページを利用した広報・情報提供や会員間の交流を目指す。

かわら版を2回、会報を1回発行した。90周年記念事業としてホームページ開設の準備を進めた（間もなく開設される予定）。メーリングリストを通じて、弁護士会又は他会派主催の企画の案内を行った。

以上

決算報告書

幹事長
林 裕之副幹事長
井崎 康孝副幹事長
尾島 史賢副幹事長
宮部千晶副幹事長
一津屋 香織副幹事長
増田 力

I 経常会計

収入				支出			
科目	令和3年度	令和2年度	前年度比 (-は減額)	科目	令和3年度	令和2年度	前年度比 (-は減額)
前年度繰越	27,616,328	22,634,178	4,982,150				
会費等収入				事務費			
年会費	8,414,000	7,781,000	633,000	会議室料	76,424	51,420	25,004
				通信費(ネクスウェイ)	81,429	35,850	45,579
				慶弔費	120,560	240,000	-119,440
				会誌印刷費等	1,899,920	1,691,140	208,780
				HP費用	0	0	0
				選挙関係	75,242	71,902	3,340
				調査委員会	13,665	40,475	-26,810
				その他事務費	14,927	12,450	2,477
小計	8,414,000	7,781,000	633,000	小計	2,282,167	2,143,237	138,930
行事等会費収入				行事等経費			
新旧幹事引継会二次会余剰金	0	0	0	春季総会経費	71,500	56,250	15,250
花見余剰金	0	0	0	ビアパーティ経費	0	0	0
春季総会会費収入	0	0	0	臨時総会経費	0	0	0
ビアパーティ会費収入	0	0	0	冬季総会経費	240,400	98,450	141,950
臨時総会会費収入	0	0	0	新年会当選祝賀会経費	97,000	0	97,000
冬季総会会費収入	156,000	0	156,000	新入会員歓迎会経費	0	368,800	-368,800
新年会当選祝賀会収入	84,000	0	84,000	新旧幹事引継会経費	153,300	0	153,300
新入会員歓迎会収入	0	277,500	-277,500	7会派合同研修会費	35,000	0	35,000
新旧幹事引継会会費収入	121,000	0	121,000	小計	597,200	523,500	73,700
小計	361,000	277,500	83,500	その他の支出			
その他の収入				委員会援助金			
オークション売上・寄付	626,566	0	626,566	企画委員会	660	440	220
普通預金利息	67	204	-137	広報委員会	53,910	112,580	-58,670
幹事会2次会余剰金	0	0	0	親睦委員会	174,432	84,450	89,982
幹事会(昼食収入)	0	0	0	研修委員会	9,900	56,100	-46,200
推薦委員会二次会剰余金	0	0	0	法曹交流委員会	330	0	330
小計	626,633	204	626,429	ジュニア部援助金	1,000,000	0	1,000,000
収入合計	9,401,633	8,058,704	1,342,929	幹事会(昼食支出)	0	0	0
				90周年記念事業実行委員会	0	0	0
				吉村元会員に対する返金	0	156,247	-156,247
				小計	1,239,232	409,817	829,415
合計	37,017,961	30,692,882	6,325,079	支出合計	4,118,599	3,076,554	1,042,045
				次年度繰越金	32,899,362	27,616,328	5,283,034
				合計	37,017,961	30,692,882	6,325,079

単年度収支 5,283,034 4,982,150

II 特別会計

特別会計	令和3年度	令和2年度
前年度繰越金	3,394,860	3,394,781
定期利息	60	79
期末残高	3,394,920	3,394,860

令和3年度会計担当副幹事長
弁護士 北口 正 幸



年-月-日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
04-04-12		*2,000,000		*30,095,953
04-04-12		*550		*30,095,403
04-04-12	.送金	*17,325	ATM カ) ネクスUI	*30,078,078
04-04-12	.手数料	*440		*30,077,638
04-04-14	.振込	アズ`カリキング`チ オ	*246,090	*30,323,728
04-04-25	.振込	ホウソウコウリウイイン	*149,670	*30,473,398
04-04-28	.振込	ミヤザ`キ セイシ	*199,340	*30,672,738
04-05-02	.振込	71チハ`アスカ	*220,100	*30,892,838
04-05-11	預金機		*6,524	*30,899,362

○他店支払いの小切手等でご入金の際は、摘要欄にお戻しができる予定日を表示します。

お支払可能時刻は小切手等の種類により異なります。詳細は窓口にご照会ください。

○本通帳の下記項目における金額・残高の単位について

〔項目名〕 お支払金額・お預り金額・差引残高

・外貨普通預金の場合、通帳見返し部に記載された通貨単位となります。

・その他の預金の場合は、円単位となります。

預入番号	定期預金の種類・取扱区分		お預り期間	
	お預り金額		税区分	中間払利息のお取扱
お預り残高		※利率	※満期日	
		※中間払利率	※中間払日	
04-02-17	002	スーパー定期 書替	元加継続1ヵ月(28日)	
		総合	****	
		*3,394,915	0.002	04-03-17
		1口 *3,394,915	****	
04-03-17	002	スーパー定期 N書替	元加継続1ヵ月(31日)	
		総合	****	
		*3,394,920	0.002	04-04-17
		1口 *3,394,920	****	
04-04-18	002	スーパー定期 N書替	元加継続1ヵ月(30日)	
		総合	****	
		*3,394,925	0.002	04-05-17
04-04-17		1口 *3,394,925	****	

1. 期日指定定期預金をお預け入れの場合は、※印の表示項目は次のようにお読み替えてください。
 ○利率 → 「2年以上」利率 ○満期日 → 最長預入期限
 ○中間払利率 → 「2年未満」利率 ○中間払日 → 据置期間満了日
 2. スーパー定期中表示し、かつ、お預り金額が300万円以上の場合、一部解約後の預金残高に応じてその適用利率が異なるため、※印の表示項目は次のようにお読み替えてください。
 ○利率 → スーパー定期300の「適用利率」 ○中間払利率 → スーパー定期の「適用利率」
 3. 変動金利定期預金の利率の表示は当初5ヵ月間の利率です。この利率は以後6ヵ月毎に変更します。
 4. 記号のご説明 CK = 他店支払の小切手等
 5. 取扱区分のご説明は通帳の最終頁に記載いたしております。

2022（令和4）年5月24日

法友倶楽部

幹事長 森 直也

決議請求書

第1号議案 会費減額の件

法友倶楽部規約第17条の表題を「(会費)」に改め、同条第1項第1文を以下のとおり改正することを求める。

【現行】 会員は年間 24,000円、ジュニア部会員は年間 12,000円の会費を納める。

【改正案】 会員は年間 18,000円、ジュニア部会員は年間 9,000円の会費を納める。

附則 この第17条第1項第1文の改正規定は、令和4年4月1日以降の会費に適用する。

第2号議案 特別会計の設置の件

法友倶楽部規約に、以下の1条を加え、第18条を1条繰り下げた上で以下のとおり改正し、第19条以下を1条ずつ繰り下げをを求める。

(会計の区分)

第18条 この会の会計は、一般会計及び創立記念行事特別会計に区分する。

2 創立記念行事特別会計は、創立記念行事に関する経理を目的とする。

【現行】

(会の経費)

第18条 この会の経費は、会費、寄附金等でまかなう。

【改正案】

(会の経費)

第 19 条 一般会計の経費は、会費、寄附金等でまかなう。

2 創立記念行事特別会計の経費は、一般会計からの繰入金及び寄附金でまかなう。

以 上

新入会員氏名等
(2021. 12. 21～2022. 5. 24)

資料5

氏名		期	所属事務所
渡邊 貴士	わたなべ たかし	70	弁護士法人OneAsia大阪オフィス
藤田 朋香	ふじた ともか	72	医療法人医誠会本部
新井 彪	あらい たける	74	にしてんま法律特許事務所
貞兼 紀夫	さだかね のりお	74	崎岡綜合法律経済事務所
安齋 美智代	あんざい みちよ	74	弁護士法人大江橋法律事務所
金原 佑征	かねはら ゆうせい	74	弁護士法人大江橋法律事務所
渡邊 陽介	わたなべ ようすけ	74	きよた綜合法律会計事務所
仁田 純佳	にった ゆか	74	弁護士法人川原綜合法律事務所
尾近 令奈	おちか れいな	74	尾近法律事務所
武田 美砂妃	たけだ みさき	74	弁護士法人琥珀法律事務所
津田 朋香	つだ ともか	74	千里みなみ法律事務所

期	番号	名前	期	番号	名前	期	番号	名前
5	1	古寄 慶長	27	43	長山 宗義	35	83	辻野 和一
6	2	松浦 武		44	中村 隆		84	藤木 邦頭
12	3	藤原 達雄		45	南 輝雄		85	西 信子
13	4	高澤 嘉昭	28	46	布谷 武治郎	36	86	太田 小夜子
14	5	太田 忠義		47	板東 秀明		87	小林 俊康
16	6	大原 健司		48	池田 容子		88	藤田 健
17	7	中村 健	29	49	植田 勝博	37	89	道上 達也
18	8	松本 晶行		50	日下部 昇		90	今中 浩司
	9	矢田部 三郎		51	瀬戸 則夫		91	中澤 洋央兒
19	10	木ノ宮 圭造			福原 哲晃		92	丸橋 茂
20	11	小西 正人		52	矢島 正孝		93	水間 頼孝
	12	河上 泰廣		53	播磨 政明		94	村辻 義信
	13	吉水 三治	54	奥野 信悟	95	森 博行		
21	14	樺島 正法	30	55	川原 俊明	38	96	辻田 博子
	15	久岡 康成		56	清田 富士夫		97	松村 剛司
22	16	原田 正雄		57	土井 廣	39	98	池田 裕彦
	17	上田 耕三	58	仲松 孝	99		小亀 哲治	
	18	中村 宏	59	朝沼 晃	100		田城 讓	
	19	丸山 英敏	60	小林 俊明	101		中村 文隆	
	20	阪本 政敬		竹岡 富美男	102		西尾 忠夫	
	21	若林 正伸	61	前田 春樹	103		濱川 登	
23	22	下垣 邦彦	62	御厩 高志	40	104	池内 清一郎	
	23	竹内 敦男	63	吉川 実		105	大原 明	
	24	好川 照一	32	64		小松 陽一郎	106	佐藤 裕己
	25	木下 善樹		65		橋本 頼裕	107	高橋 博之
	26	川崎 壽		66		松尾 敬一	108	西村 渡
24	27	藤田 勝治	33	67	森 英子	109	藤原 弘朗	
	28	吉野 和昭		68	上田 裕康	110	松村 廣治	
	29	今井 浩三		69	後岡 良知	41	111	青木 秀篤
	30	瀧 賢太郎		70	益満 清輝		112	辰田 昌弘
25	31	柴田 信夫	71	山川 富太郎	113		松田 敏明	
	32	畑村 悦雄	72	北側 一雄	114	満村 和宏		
	33	高須 要子	73	北野 幸一	115	川口 博夫		
26	34	荒鹿 哲一	34	74	伊丹 浩	42	116	平田 亨
	35	池上 健治		75	柏木 泰英		117	若林 学
	36	中島 馨		76	仙頭 幹夫		43	118
	37	松村 猛	77	小田 耕平	119	近藤 行弘		
	38	岡 豪敏	78	大川 一夫	120	崎岡 良一		
27	39	岡嶋 豊	79	桂 充弘	121	中塚 賀晴		
	40	北岡 満	80	金高 好伸	122	橋田 浩		
	41	清水 正憲	81	岸本 淳彦	123	平井 利明		
	42	谷池 洋	82	倉岡 榮一	44	124	工藤 展久	

期	番号	名前	期	番号	名前	期	番号	名前
44	125	佐田元 眞己	51	167	大山 徹	56	205	山田 敬子
	126	中村 吉男		168	中川 美佐		206	山田 真吾
	127	小林 邦子		169	橘高 和芳		207	井野邊 陽
	128	伊 英和		170	沙々木 睦		208	佐々木 栄一
45	129	板垣 善雄	52	171	高安 秀明	57	209	大嶋 実弦
	130	魚住 泰宏		172	辻本 希世士		210	大谷 理香
	131	笠島 幹男		173	豊永 泰雄		211	尾田 智史
	132	川合 清文		174	野田 貴浩		212	川端 さとみ
	133	塩田 慶		175	福田 あやこ		213	阪口 英子
	134	鈴木 章		53	176		壇 俊光	214
135	田中 英行	177	辻 淳子		215	玉田 裕子		
46	136	土谷 喜輝			林 裕之	216	土橋 央征	
	137	松並 良			森 直也	217	土橋 直子	
	138	村上 泰彦	178	中野 希美	218	名取 伸浩		
47	139	宮崎 誠司	54		井崎 康孝	219	野村 いづみ	
	140	増田 勝洋		179	伊藤 真紀	220	森下 彩子	
48	141	池下 利男		180	河野 良介	221	森谷 智行	
	142	岡田 隆		181	辻村 和彦	222	小寺 陽平	
	143	畑山 和幸		182	中嶋 勝規	223	仁瓶 善太郎	
	144	平井 信夫		183	本元 宏和	58	224	小林 悠紀
	145	藤井 敬子		184	山岸 克巳		225	寶谷 英一
	146	藤原 道子		185	北野 陽子		226	松本 亮
49	147	五條 操		186	土居 正人		227	森本 純
	148	下垣 和久		187	細川 和樹		228	梁 沙織
	149	菅原 茂	188	朝野 修治	229		今村 昭悟	
	150	橋口 玲	189	川本 真聖	230	笠島 智敬		
	151	本郷 誠	190	木村 尚巧	231	菅原 謙太郎		
	152	村田 秀人	191	小坂谷 聡	232	長澤 松男		
50	153	末永 京子	55	192	小西 輝明	233	中野 佳子	
	154	太田 健義			辻村 幸宏	234	深田 愛子	
	155	岡本 満喜子		193	幡野 有紀	235	福井 拓	
	156	伴城 宏		194	浜田 真樹	59	236	古庄 俊哉
157	宮原 正志	195	藤本 英二	237	本間 亜紀			
51	158	池垣 彰彦	196	北岡 裕章	238		松田 さとみ	
	159	大長光 聡	197	相沢 祐太	239		小西 憲太郎	
	160	大橋 さゆり	198	井口 喜久治	240	山本 和正		
	161	川上 温	199	尾島 史賢	241	原田 裕康		
	162	北浦 一郎	200	金子 展弘	242	矢口 智春		
	163	徳村 初美	201	北野 知広	243	石堂 一仁		
	164	中西 啓	202	竹内 直久	60	244	佐伯 良祐	
	165	成田 史郎	203	富田 陽子		245	武石 美智子	
166	重富 貴光	204	藤野 慶治	246		田中 志保		

期	番号	名前	期	番号	名前	期	番号	名前
60	247	松尾 耕太郎	62	289	屋敷 名臣	64	331	松浦 宏彰
	248	海野 花菜		290	吉村 耕介		332	水戸 章博
	249	藏本 隆之		291	和田 隆峰		333	森澤 真人
	250	三村 雅一		292	林 征人		334	谷岡 茉耶
	251	山岡 直人		293	長田 知恵		335	栗田 圭司
	252	山崎 道雄		294	財家 庄司		336	高見 晋祐
	253	李 暎浩		295	平瀬 義嗣		337	原 悠介
	254	中塚 雄太		296	中村 さやか		338	松木 俊明
61		小林 理絵	63	297	小林 俊統	65	339	中尾 良平
	255	櫻田 司		298	相川 大輔		340	中辻 猛
	256	茂永 崇		299	池田 偉宣		341	肱岡 徹
	257	武石 智広		300	大亀 将生		342	三上 志帆
	258	塚崎 幸司		301	大住 洋		343	石坂 省悟
	259	西村 嗣人		302	阪上 剛		344	延山 泰典
	260	日高 伸哉		303	里村 洋平		345	門林 俊夫
	261	宮部 千晶		304	知識 弘恵		346	伊東 聡史
	262	荒鹿 高行		305	東 達也		347	上田 絢子
	263	秋吉 忍		306	増田 力		348	岡田 照久
	264	荒牧 浩昭		307	丸山 寛		349	琴 太一
	265	安藤 良平		308	三井 良平		350	佐藤 裕幸
	266	古賀 健介		309	村岡 悠子		351	田中 亮輔
	267	高山 未奈子		310	吉村 彰浩		352	中山 貴博
268	辻本 良知	311	大坂 章仁	353	八木 稔郎			
269	藤野 睦子	312	島 優人	354	山田 一仁			
270	倉田 多佳子	313	徳田 聖也	355	三木 真由美			
62	271	酒井 由香	64	314	中村 輝	66	356	龍田 真人
	272	杉村 元章		315	曾波 重之		357	津田 祥孝
	273	堤 馨正		316	村上 崇		358	中原 圭介
	274	吉鹿 央子		317	多々納 久雄		359	川島 直人
	275	入江 貴之		318	岩田 直樹		360	杉野 崇太
	276	太田 泰規		319	今山 武		361	高須賀 彦人
	277	置田 浩之		320	中村 直志		362	藤田 康貴
	278	奥村 雅美		321	壺井 健一		363	北口 正幸
	279	金 泰弘		322	長谷川 洋平		364	真継 豪
	280	古閑 世里菜		323	影山 秀樹		365	川崎 賢介
	281	小谷 成美		324	副島 久満子		366	安田 有次郎
	282	清水 諒		325	田中 章弘		367	小川 敬嗣
	283	薛 史愛		326	永木 友雪		368	福本 隆史
	284	辻 健司朗		327	中村 諒子		369	横枕 真哉
	285	中村 昭喜		328	後岡 美帆		370	片岸 寿文
	286	板東 大介		329	前野 修一郎		371	瀧井 喜博
	287	一津屋 香織			藪根 壮一		372	永井 誠一郎
	288	堀 伸一		330	脇田 俊宏			中島 裕一

期	番号	名前	期	番号	名前	期	番号	名前
66		中原 明子	68	413	町野 達也	72	454	金川 文恵
	373	西村 雄大		414	菅谷 元太		455	川村 紗恵
	374	西本 雄大		415	岡田 悠		456	久米 浩文
	375	早川 僚太		416	木村 隆輔		457	曾我 祐介
	376	脇田 圭吾		417	寺島 正作		458	坪根 秀典
	377	星野 峻三	69	418	宇都 文子		459	中野 陽介
	378	森川 智子		419	小寺 弘通		460	堀田 和希
	379	西原 文子		420	田中 治		461	松本 知生
	380	知花 鷹一郎		421	西松 依里子		462	藤田 朋香
	381	隅田 唯		422	原 敬祐		463	岡 直人
	382	中原 明日香		423	三嶋 隆子		73	464
383	天井 友香	424		山本 知広	465	生田 昂平		
384	荒井 雄作	425		城水 信成	466	竹田 仁		
385	石津 真二	426		川合 晃央	467	田中 想音		
386	井村 勝也	427		羽藤 央貴	468	谷 麻紗子		
67	387	入江 祥大		70	428	渡邊 貴士	74	469
	388	大川 恒星			青木 佑馬	470		貞兼 紀夫
	389	甲斐 直恵	429		浅井 佑太	471		安齋 美智代
	390	東山 慎一郎	430		石川 智也	472		金原 佑征
	391	三津谷 周平	431		植田 かおり	473		渡邊 陽介
	392	山内 邦昭	432		白井 道一	474		仁田 純佳
	393	片岡 力	433		山下 博司	475		尾近 令奈
		玉野 まりこ	434		東井 瑞起	476		武田 美砂妃
	394	井上 亮介	435		菱田 優	477		津田 朋香
	395	金 順雅	436		坂本 佳那			
	396	中津 慶太郎	437		福本 恵理			
	397	中村 雄高	438	谷口 陽輔				
	398	喜多 啓公	439	千葉 あすか				
	68	399	中井 雅人	71	440	土井 一磨		
400		青木 裕太	441		中野 博之			
401		新井 健	442		西山 勝博			
402		大原 靖史	443		藤村 貴郁			
403		河合 悠介	444		都 裕記			
404		佐々木 元起	445		吉村 まどか			
405		大黒 光大	446		上田 祐也			
406		高尾 奈々	447		鯖屋 雄大			
407		針谷 健太郎	448		岡村 亜衣子			
408		藤原 和久	449		小柳津 緑			
409		前嶋 幸子	450		羽田 伸矢			
410		森田 拓士	451		山崎 慶士			
411		山本 大士	452		安 瑛美子			
412		加世田 紘梓	72		453	櫛田 翔		

令和3年度諮問第2号

2020（令和3）年9月27日

企画委員会

委員長 宮崎誠司 殿

法友倶楽部

幹事長 林 裕 之



諮 問 書

次のとおり諮問しますので、2022（令和4）年3月31日までに答申いただきますようお願い申し上げます。

第1 諮問事項

- 1 当会の会費（年間2万4000円、ジュニア部会員は年間1万2000円）を減額することの当否、及び減額する場合の適切な会費の額
- 2 当会の会計に一般会計とは別に、一定の目的をもった特別会計を設置することの当否、及び設置する場合の規律の仕方

第2 諮問の理由

1 会費の減額について

- (1) 現在、当会の会費は、一般会員が年間2万4000円、ジュニア部会員が年間1万2000円とされ（法友倶楽部規約17条本文）、入会后1年間の会費は免除するとされている（同条ただし書き）。

他会派の年会費は下記のとおりであり（資料1 月間大阪弁護士会2019年8月号7頁ないし16頁）、現在、当会の会費は他会派よりも割高であるといえる。

春秋会	2万0000円（若手は減免制度あり、初年度は免除）
一水会	1万0000円
友新会	1万2000円（新入会員は6000円）

法曹公正会 2万0000円（初年度は免除）

法曹同志会 1万8000円（1年未満及び70歳以上は免除，1年以上2年未満は6000円，2年以上10年未満は1万2000円，

五月会 1万0000円

- (2) 他方，当会の直近8年間の収支及び次年度繰越金は下記のとおりであり（資料2 収支推移表），毎年の収支は概ね黒字であり，繰越金は毎年平均約188万円のペースで増加している。

	収 支	次年度繰越金
平成25年度	▲53万2597円	1199万5042円
平成26年度	97万3002円	1296万8044円
平成27年度	250万5871円	1547万3915円
平成28年度	306万1479円	1853万5394円
平成29年度	343万6248円	2197万1642円
平成30年度	114万0919円	2311万2561円
平成31年度	▲47万8383円	2263万4178円
令和2年度	498万2150円	2761万6328円

- (3) 弁護士が職務を全うするためにはその経済的基盤が安定していなければならないが，近年，弁護士の経済的基盤は悪化しつつあるといわれている。かかる事情を背景に，日弁連は，平成28年4月に会員の一般会費をそれまでの月額1万4000円から月額1万2400円に引き下げており，現在，これをさらに1万0200円に引き下げる方向で検討がなされている。当会としても，可能な限り会員の経済的負担に配慮する必要があると考えられる。

- (4) このような状況に鑑みれば，当会の会費の額が適切なものであるか，再検討する時期に来ていると考えられる。そして，適切な会費の額を検討するうえでは，上記の状況に加えて，創立記念行事，大阪弁護士会会長の推薦等の臨時的な支出が生じることや，近年実施されている経費削減策（ファックスの削減，WEB会議，法友かわらばん等）についての今後の見通し等も考慮されなければならない。

当会の運営は会費収入を中心に支えられており、会費の減額については、慎重な検討が必要である。これまで当会においては様々な魅力的かつ有意義な企画が実施されてきたが、これらが萎縮してしまうようでは逆に求心力を失うことになり本末転倒である。先達によって連綿と受け継がれてきた当会の気質や求心力を失うことなどあってはならない。

- (5) そこで、当会の会費を減額することの当否、及び、仮に減額する場合にどの程度の会費に設定することが適切であるかについて、貴委員会において検討のうえ、答申いただきたく諮問する。

以下は、当執行部における試算であり、貴委員会における議論の参考にしていいただければ幸甚である。

(6) 収支分析

収支をさらに分析するために、資料2の収支推移表から寄付収入と創立90周年記念行事支出を除いた「修正収支」、及び「会費収入」、「各行事収支計」をまとめると、下表のとおりである。

	修正収支	会費収入	各行事収支の計
H25	▲ 2,232,597	6,831,000	▲ 663,175
H26	123,002	7,216,000	▲ 317,534
H27	2,430,871	7,370,000	▲ 458,015
H28	2,061,479	7,673,000	▲ 575,673
H29	936,248	7,306,000	▲ 642,738
H30	1,140,919	6,858,000	▲ 656,038
H31, R1	521,617	6,858,000	▲ 1,280,946
R2	4,982,150	7,781,000	▲ 246,000
平均	1,245,461	7,236,625	▲ 605,015
H27~H31 の平均	1,418,227		

平成25年度は、寄付として170万円の収入があったが、会誌等印刷代として例年より高額な579万2220円を支出しており、赤字とな

っている。平成26年度も、会誌等印刷代に例年より高額の424万4250円を支出したが、かろうじて黒字となった。平成31年度は、創立90周年記念行事に100万円を支出しており、これを除けば52万1617円の黒字である。

各種行事については、行事ごとの会費等収入があるので、行事ごとの収支をみる必要がある。行事ごとの収支を合計すると、平成31（令和元）年度を除き赤字は70万円までで収まっている。

(7) 会費収入

上表のとおり、会費収入は680万円から780万円を推移しており、平均は723万6625円である。

当会会員の期別人数は、期別人数表（資料3）のとおりであり、今後、ボリュームゾーンである第63期以降が一般会員となっていくため、会費の増収が見込まれる。ただ、最近の新入会員は10人前後にとどまっており、楽観視はできない。

(8) 試算

寄付収入を除いた収支について、高額な会誌等印刷代を支出した平成25年度及び平成26年度とコロナの影響を大きく受けた令和2年度を除き、平成27年度から平成31年度の収支を平均すると、141万8227円の黒字である。

また、近年、通常の会誌に代えて「法友かわらばん」を発行することにより、会誌等印刷代がおおむね150万円減額している。今後、会誌のWEB化などによる会誌等印刷代の減額について、様々な議論が期待されるが、「法友かわらばん」を継続するだけでも、収支に与える影響は大きい。他方で、当会ではホームページの立上げが予定されているが、ランニングコストの見込みは数万円程度（レンタルサーバー費約2万円、ドメイン更新費約2000円、会員等情報追加費用1件4～500円）であり、大きな影響はない。

以上を前提にすると、年間約290万円の余剰が生じる計算になり、会費収入平均額723万6625円の25%に相当する180万9156円を減額したとしても、約110万円の余剰が生じることになる。

創立記念行事や大阪弁護士会会長の推薦等の臨時的な支出に備える必要があるが、現時点で当会会計の繰越金が2761万6328円（特別会計を含めると3101万1188円）に及んでおり相当な支出に耐えうること、今後会費の増収が見込まれることなどから、上記の会費減額をしても臨時的な支出のために年間50万円～100万円程度の積立を実施することが可能である。

以上より、現行の会費2万4000円を25%減額し、1万8000円にすることが可能であると思慮する。

2 特別会計の設置について

(1) 現在、当会では、決算報告書上「特別会計」なる項目は存在するが、同会計は当会の規約上の根拠がなく、その使途や積立及び取崩しのルールが不明確である。

(2) 当会が前述のとおり毎年余裕を持った収入を確保しているのは、主に、当会が10年毎に創立記念行事を実施しており、その際に500万円程度の臨時支出を要することから、予め毎年少しずつその資金を積み立てておく必要があるためであると考えられる（創立記念行事が恒例化するにつれ、それに備えるべく毎年多めの収入を確保するという運用が定着したものと思われる。）。また、当会から大阪弁護士会会長を推薦する場合等の臨時的な支出に備える目的もあるように思われる。

そのように特別な目的に備えるために一定の収入を確保するのであれば、一般会計とは区別し、特別会計として管理した方が、事業・資金ごとの運用状況や受益と負担の関係がより明確になり、適切である。

また、一般会計と特別会計を区別し、預金口座も区別して管理することで、たとえば不祥事を防ぐという副次的な効果も期待できる。

(3) そこで、当会の会計に一般会計とは別に、創立記念行事等に目的を限定するなど特別会計の趣旨を明確化し、又は趣旨を明確化した特別会計を新設する（この場合、現行の「特別会計」は新設する特別会計にそのまま組み入れることとする。）、ことの当否、並びに仮に同特別会計を設置すべき場合に、その使途や積立及び取崩しに関する規定を規約上定めるなど、

具体的な規律の仕方について、貴委員会において検討のうえ、答申いただきたく諮問する。

以 上

(添付資料)

- 1 月間大阪弁護士会 2019年8月号7頁ないし16頁写し
- 2 収支推移表
- 3 期別人数表